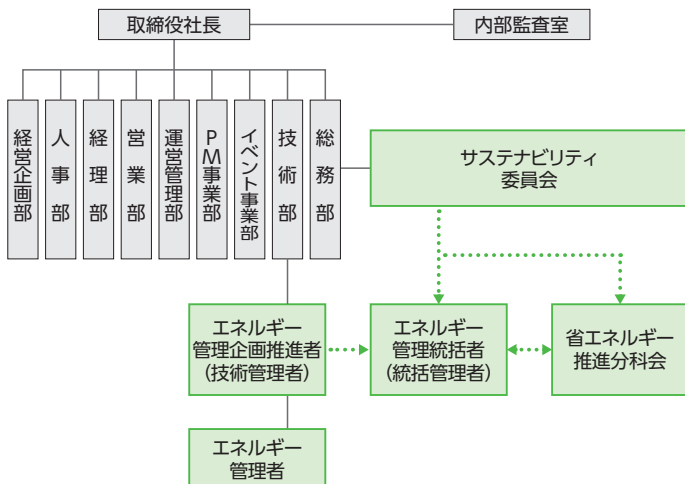


サステナビリティ推進体制

サステナビリティの推進を経営の重要課題と捉え、その推進の強化を目的とし、代表取締役社長を委員長、常勤役員及び各部部長を委員として構成するサステナビリティ委員会にてサステナビリティ推進に関する事項の報告や審議を行っております。

本委員会では、当社が策定した「2030年に向けてのSDGs目標設定」の各項目に対する進捗確認や下部組織の省エネルギー推進分科会による省エネルギー管理活動の報告等を行っています。

総務部が同委員会の事務局として運営しており、親会社三菱地所(株)サステナビリティ推進部等と連携しながら、当社及び子会社のサステナビリティに関する取組みを牽引してまいります。



企業行動憲章

- 1 わたしたちは、誠実かつ公正透明な企業活動を行います
- 2 わたしたちは、安全・安心を提供します
- 3 わたしたちは、企業市民として社会との調和に努めます
- 4 わたしたちは、活力ある職場を実現します

株式会社東京流通センター

〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1

TEL:03-3767-2111 (代表)

FAX:03-3767-2053

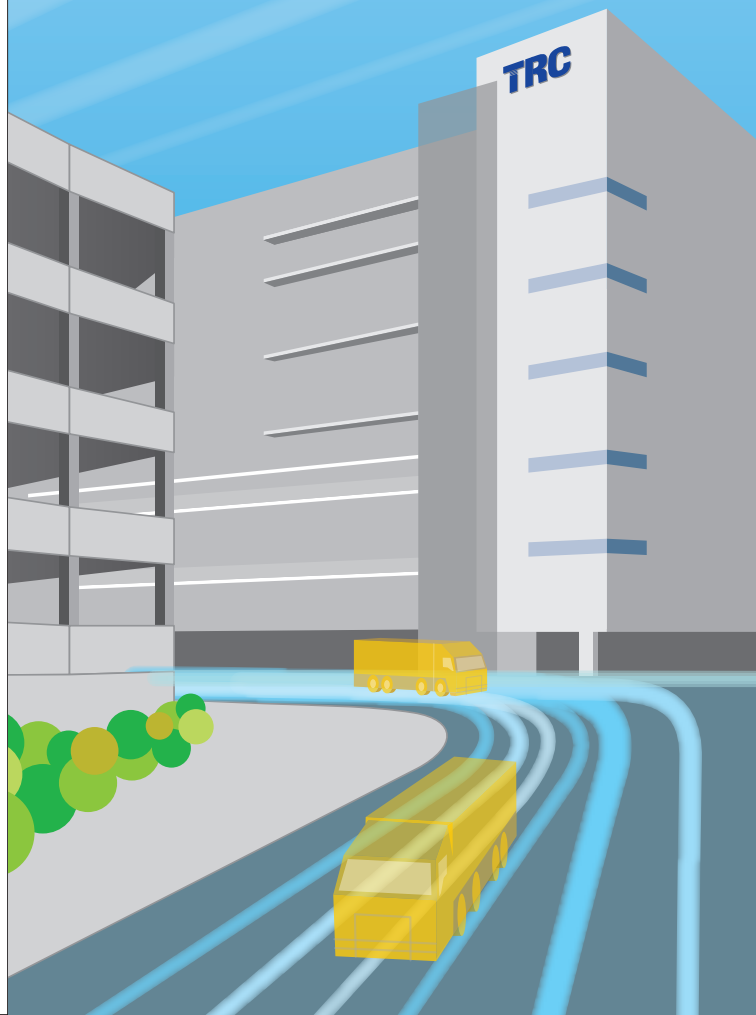
<https://www.trc-inc.co.jp/>



TRC
Tokyo Ryutsu Center

S U S T A I N A B I L I T Y R E P O R T

2024.4—2025.3



2025年5月22日
東京流通センターを拠点に
「平和島自動運転協議会」発足



自動運転業界の発展を目的とした「平和島自動運転協議会」は、(株)日本経済研究所が事務局を務め、会員に自動運転開発企業と(株)日本政策投資銀行を加えて発足しました。TRCは施設運営を担い、15万㎡の構内を自動運転車両走行フィールドとして提供、及びセンタービルの一区画をコミュニケーションルームとして整備し、自動運転技術にかかる実証実験等の場を提供します。本協議会での様々な企業様とのコラボレーションを通じ、幹線輸送、及びラストマイル輸送両面での自動運転車両走行の実現等、物流効率化に資する取組みを更に進めてまいります。



自動運転車両走行実証実験

TRC構内の一部を提供し、自動運転車両走行の実証実験を随時実施します。
写真提供: チューリング(株)



HeAD Light Field

Heiwajima Autonomous Driving conference

本協議会におけるTRC構内の名称として、「HeAD Light Field」と名付けました。Heiwajima Autonomous Drivingの各単語の頭を取って「HeAD」、車のヘッドライト・自動運転の未来を照らし出す「灯台」をモチーフに「未来へ向けて自動運転技術を進歩させる＝社会課題を解決していく・人々の負担を軽く(ライトに)する」という意味を込めた「Light」、そして場所や空間を意味する「Field」を組み合わせました。

会員用コミュニケーションルームを開設



TRCセンタービル9階に協議会会員用のコミュニケーションルームを設置。本協議会は、物流TECHを集積し共同で物流課題を解決する「TRC LODGE」内の組織とし、会員同士のopen innovationが生まれる場を提供します。(画像はイメージ)

【地球環境】

環境負荷低減に尽力し続ける

今年度取り組み実績

TRCは、東京都環境確保条例に基づく特定地球温暖化対策事業所※1として、既に終了した第一計画期間(2010～2014年度)のCO2換算総排出量(テナント部含む)を年平均で基準排出量の92%以下に、また、第二計画期間(2015～2019年度)では83%以下に、現第三計画期間(2020～2024年度)には73%以下、さらに第四計画期間(2025年～2029年)では50%以下の削減が義務付けられています。

過去19年間では、最新の各種省エネ機器の導入及び更新の計画的実施や運用方法等の改善、また、物流ビルA棟・B棟の建替え(省エネ性能の向上)による温室効果ガス削減対策を鋭意行っています。

その結果、第一計画期間では基準排出量に対し平均29%の削減を達成。また、第二計画期間についても平均で45%の削減が達成

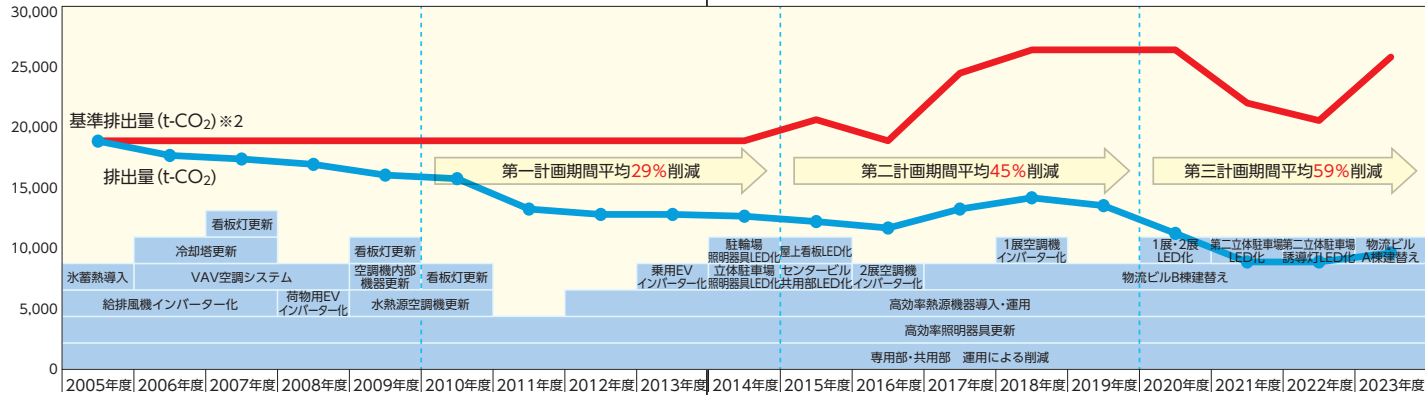


TABLE FOR TWO取組み

当社が運営する飲食店舗では、日本をはじめとする先進国で1食をとるごとに、開発途上国に1食が届けられる「TABLE FOR TWO (TFT)」プログラムに賛同し、ヘルシーメニュー「TFTランチ」を提供しております。

あわせて、構内で働く皆さまの生活習慣病の予防・改善に向けたメニューの開発にも取り組み、健康づくりを支援しています。



できました。第三計画期間については、2023年度時点で59%の削減ができています。

引き続きテナント・協力会社の皆様とともに温室効果ガス削減対策に積極的に取り組んでまいります。なお、TRCでは共用部等の電力使用量は非化石証書を用いて「RE100※2」に対応しております。

- ※1【特定地球温暖化対策事業所】
3年度連続して、燃料、熱、電気の使用量が原油換算で年間合計 1,500 kL 以上となった事業所。
- ※2【RE100】とは、自然エネルギー 100%での事業活動を行うという宣言をした国際的な企業集团のことで、2050年までに、事業活動に使用するエネルギーを太陽光や風力などの再生可能エネルギーで100%調達することを目標に掲げています。
- ※3【基準排出量変更について】
①第二計画期間(2015年度)より電気の換算係数が変更となり、基準排出量も併せて変更。
②2015・2016年度物流ビルB棟の閉館に伴い基準排出量の変更。
③2017年度は新物流ビルB棟の竣工に伴い基準排出量の変更。
④2021・2022年度は物流ビルA棟の閉館に伴い基準排出量の変更。
⑤2023年度は新物流ビルA棟の竣工に伴い基準排出量の変更。

廃棄物処理ハンドブック

2024年4月に作成した「廃棄物処理ハンドブック」について、新規テナント入居時の館内ルール説明時に併せてご案内するなど、入居テナントへの周知・啓発に継続的に取り組んでおります。今後もテナントによる一次分別の促進およびリサイクル率向上に取り組んでまいります。

「人の尊重」

人を想い、人に寄り添い、人を守る

健康経営と社内コミュニケーション



役職員の健康促進を目的に、三菱地所グループで開催している「カラダ改善コンテスト」に、当社と子会社が合同で初出場をしました。TRCグループでの参加者は、総勢41名が参加し、9チームを編成しました。

「カラダ改善コンテスト」は、役職員一人ひとりの健康意識を高め、より健康的な生活習慣を確立することを目的として行われるプログラムで、5名程度でチームを組み、2カ月間の筋肉量増、脂肪量減、歩数をポイント化して競うチーム対抗戦となっています。

参加者からは、「カラダ改善に成功した」「ウォーキングの習慣を身につけた」といった声が寄せられました。また、コンテスト期間中に、ウォーキング大会も開催し、健康意識の向上だけでなく、社内コミュニケーションの活性化も図りました。

来年度以降も、役職員一人ひとりが健康で生き活きと働ける環境づくりを目指してまいります。

「価値の創造」

新たな価値の創造と循環

TRC LODGE 活動取組み

「TRC LODGE」は、物流業界の課題解決を目指して、物流ソリューション出展企業とテナント様のビジネスマッチングの場を提供しております。また、輸配送効率化や労務環境快適化などの「物流課題解決セミナー」を開催し、多くの方々にご参加いただきました。これらの活動を通して、テナント様の物流業務効率化・高度化を支援してまいります。



「まち・サービス」

次世代に誇るまちのハードとソフトの追及

SDGs おおたスカイパートナー認定

当社は東京都大田区より、「SDGsおおたスカイパートナー」に認定されました。本制度は、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて積極的に取り組む区内事業者(法人、個人事業主又は団体)を、大田区が認定し、その活動を広く「見える化」することを目的としたものです。当社は今後も、地域社会や行政と連携しながら公民一体となって持続可能なまちづくりの実現に貢献してまいります。



各種訓練実施

当社では自衛消防活動の一環として、各種防災訓練を実施しております。

社員を少人数の班に分け、消火、応急救護、避難誘導、消防への通報など、災害発生時を想定した実践的な訓練を行っています。



こうした活動を通じて、全社員が火災や地震などの災害に対する知識・技術・意識を高め、有事の際には的確に活動することにより、地域の重要拠点としての役割を果たせるように備えています。

さらに、構内にて毎年「普通救命講習」を開催しており、当社役職員の95%以上が救命技能認定を取得しています。私たちは、来館される皆さま、テナントの皆さまに、より一層の安全と安心を提供できるよう、今後も防災体制の強化に努めてまいります。

入居テナント向けイベント開催(テナント交流会)

当社初の試みとなる、TRC物流施設とオフィスに入居するテナント企業間の交流促進・ビジネスマッチングを目的とした「TRCテナント交流会」を開催し、テナント間での積極的な情報交換が行われ、各社より好評をいただきました。引き続きテナント各社の当社施設に対する満足度向上に努めてまいります。

